



近畿大学工学部

map P23C3

広島大学

map P23B4

デジタル技術×東広島 最新デジタル技術を駆使した 「はてなワールド」を道の駅で開催

はてなワールド

①遊び感覚で子どもたちがデジタル技術にふれられるユニークなコンテンツを用意した ②道の駅の多目的ホールをメイン会場に。2日間の開催で来場者は約1000人にもなった ③屋外ではパフォーマンスやアカペラライブなども。ゲストの交渉や広報などもHSCのメンバーが担当 ④会場ではデジタル技術を今度では自分の手で。ゲーム作り道場は好評を博した

ひろしま すちゅーでんと こみゅにいてい(えいちえすしー)
Hiroshima Student Community(HSC)
設立は2015年。広島大学や広島工業大学に在籍する学生・院生が参加。VR(仮想現実)などの最新テクノロジーに関するイベントなどをとおして、学生と社会人の交流の場を作っている。

クリエイターとともに
多彩なコンテンツを創出

大型遊具やキャンプ場を備え、ファミリーにも人気の「道の駅湖畔の里福富(POG)」。ダム湖に囲まれた自然豊かなこの場所では、2016年9月、最新デジタル技術にふれて、学べるイベント「はてなワールド」が開催された。同施設とともに主催運営したのは、最新テクノロジーの参加型体験イベントを手掛ける学生団体「Hiroshima Student Community(HSC)」だ。

「私たちのクリエイティブを発信するとともに、子どもたちがデジタル技術にふれ、学べる機会になれば」と思い、企画しましたと話すのはHSC代表の尾倉さん。広島県内のクリエイターにも声を掛け、空中で自在に絵を描く「AIR SHODOU」、バーチャル空間で鬼ごっこができる「URAGON GOOCO」など、ユニークなコンテンツをプロデュースした。

VRコンテンツ開発イベント「VR Game Jam」の広島会場の主催運営も担当した

学生・地域・企業が
連携するきっかけになれば

「子どもたちが遊ぶだけでなく、体験したことを自分の手で実現できるようなゲーム作り道場も企画。定員いっぱいになるほどの申込みがありました」と尾倉さん。子どもたちの学びへの意欲の高さを体感することにも、このイベントを通じて、地域はもちろん、東広島市に拠点を置く企業や学生団体とも新たなつながりが生まれたという。「学生・地域・企業の間にある壁がなくなっていけば、もっとおもしろいイベントが企画できるはずですよ。『はてなワールド』がそのきっかけになつてくれたと思います。地域の企業とのコラボを進めながら、次のイベントを企画中というHSC。「いつか東広島市の観光マスコット『のん太くん』や、酒まつりともコラボしてみたいですね等」。

学術研究都市・東広島ならではの 若者たちと地域の交流も魅力

市内に4つの大学がキャンパスを構え、学術研究都市としても発展する東広島市。人口の約1割を占めるという大学生が主体となり、サークル活動から大学独自の取り組みまで、幅広い分野にわたって地域との交流を育むプロジェクトを垣間見てみよう。

建築×東広島 建築・デザインの視点から 地域との交流を目指す

イベントなどで設置される紙芝居小屋風の「移動式映画館」。軽トラックで運搬でき、設置も簡単。小スペースを映像空間に早変わりさせる。「空きスペースの活用を目的に作りました」と話すのは、建築やデザインを学ぶ学生が集まる『広島建築系学生団体scale』。2016～17年度代表の富田さん。

「あるイベントで移動式映画館を展示したところ設置依頼が来るように。それが建物や空間の設計施工まで手

掛けるきっかけになりました」。以来、災害復興の二環で手掛けた広島市安佐北区の「あおぞらリノベーション」をはじめ、「2枚の掲示板」でのイベントの会場装飾サポート、現在は東広島市・志和地区にある茅葺古民家の図書室へのリノベーションや保全活用にも着手。「興味のあるプロジェクトにメンバーは自由に参加しています。私たちのアイデアが、東広島市などの地域貢献につながることにやりがいを感じています」。

ひろしまけんちくけいがかせいだんたい すけーる
広島建築系学生団体scale
設立は2010年。大学の垣根を超えて広島県内の建築・デザイン系の学部在籍する学生が集まる。現在は志和地区の古民家プロジェクトを中心に、イベントのサポートや空間リノベーションなどを手掛けている。



移動式映画館



一枚の掲示板



ほたる荘・かやぶき古民家保全活用プロジェクト



あおぞらリノベーション

東広島を
リードする
若い力が
スゴイ!

広国PARK



①学生がアポイントを取り、イベント主催者などへインタビューを行っている
②本番中はディレクターを担当する学生の指示により、台本の尺を伸ばしたり縮めたり、臨機応変に対応している



③番組は49分間の生放送。選曲・パーソナリティはもちろん、インタビューデータの編集作業も学生たちが行っている

ラジオ番組「広国PARK」は、広島国際大学心理学部の学生有志らが集まり、企画から取材・台本作り、番組のラジオパーソナリティまでを担当するユニークな取り組みだ。

「スポットの当たる感じが少ないローカルニュースを取り上げ、その魅力を発信しています」と代表の一人の中さん。東広島市内で取材先へインタビューを行うことで、「いつも新しい発見があります。その驚きを少しでも多くの人に伝えられたら」と、同じく代表の宇野さんも語る。

2016年12月で学生による放送回数は2000回を超えた。「広国PARKは地域を結ぶ架け橋の存在です。番組をとおして東広島の魅力がもつたくさんの人たちに伝わるよう、これからもがんばります」。

ひろこくぱーく
広国PARK
2011年10月の東広島市のコミュニティFM放送局「FM東広島」開局時から続くレギュラー番組。放送時間は毎週木曜19時からで49分間の生放送。東広島市内の地域イベントの主催者・参加者インタビューをはじめ、広島国際大学のクラブやサークル、イベント紹介などをリスナーに届けている。